

## 基本目標 1 北上で出会い、安心して子どもを産み育てられる「まち」を創る

数値目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.64 (H25)	1.62 (H32)

※目標値について、平成25年度を基準とし過去30年の減少率と同じ率で今後上昇させ2050年までに2.07を目指す。  
《参考》 2025年(H37):1.70 2030年(H42):1.78 2035年(H47):1.87 2040年(H52):1.95 2045年(H57):2.03

### 基本的方向

本市の合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの減少し続け、死亡数が出生数を上回る自然減に突入しています。出産・子育てに関する課題として、市民アンケートからは子育てに係る経済的負担、出産・子育てと仕事の両立などが挙げられており、また、結婚においては、出会いがない、雇用や収入への不安などを理由に男女共に有配偶率が減少傾向にあります。

本市としては、若年世代が安心して働ける質の高い職場を生み出し、結婚希望の実現率を引き上げるとともに、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の確保に取り組むことによって、夫婦等が望む子育て環境を提供し、希望する子どもの数を実現できるよう取り組みます。

#### 【施策の体系図】

#### 北上で出会い、安心して子どもを産み育てられる「まち」を創る

施策① 若い世代の結婚の希望をかなえる安定就労と出会いの創出

施策② 妊娠から育児まで切れ目のない子育て支援環境の提供

施策③ 子育てと仕事を両立できる職場環境の実現

## 施策① 若い世代の結婚の希望をかなえる安定就労と出会いの創出

本市の若い世代の結婚は、契約・派遣社員などの有期雇用者や農業など第1次産業従事者で結婚している割合が少ない傾向にあり、結婚できない理由は雇用面・収入面への不安や良きパートナーとの出会いがないなどとなっています。男女ともに減少傾向にある有配偶率を向上させるため、若年層を中心とした、就労支援や職場の定着、男女の出会いの場の創出など、希望する結婚のための改善に向けた取組みを支援します。

具体的な取組み	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	総合計画との関連
○若い世代の就労と職場定着の支援 ○民間団体等と連携した男女の出会いサポート	北上市管内新卒者の当市及び近隣市町への就職内定率	57.3%	60%	【施策 3-4-1】 雇用環境の向上
	市内平均所得	2,729 千円 (H24)	3,000 千円 (H32)	

## 施策② 妊娠から育児まで切れ目のない子育て支援環境の提供

北上市人口ビジョンにおける市民アンケート結果によると、子どもをもうける際の課題として、出産・子育てに係る経済的負担、子育て環境の充実を挙げる割合が多く、子育て家庭が抱える不安・負担感の軽減が出生率の向上に大きく影響します。男女ともに安心して子どもを産み育て、健やかな成長を促す切れ目のない支援・環境を整えることにより出生数の増加につなげます。

具体的な取組み	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	総合計画との関連
○教育・保育環境の整備 ○保育サービスの充実 ○子育て支援サービスの充実 ○子どもや母親の健康の確保 ○子育て家庭への経済的負担の軽減	年度当初の保育園待機児童数	7 人	0 人	【施策 1-1-2】 子育て家庭等への支援
	年度末の保育園待機児童数	31 人	0 人	
	北上市の育児環境が整備され安心して子育てできると思う人の割合	70.6%	80% (H32)	【施策 1-1-4】 幼稚園と保育園が連携した子育て環境の整備

### 施策③ 子育てと仕事を両立できる職場環境の実現

共働き世帯では、就業しながらの出産・子育てに対して男女ともに不安を感じており、共働きでも安心して子育てができるよう保育サービスを充実させることに加え、市内の企業への意識啓発を通じて子育てに対する理解促進や休暇制度の充実を促すことで、働きながら子育てができる環境づくりを支援します。

具体的な取組み	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	総合計画との関連
○ワーク・ライフ・バランスの推進	「男性は仕事、女性は家庭」に同感しない人の割合	60.5%	65% (H32)	【施策 6-1-2】 男女共同参画社会の実現
	男女が等しく社会に参加できる環境づくりの満足度（6段階評価）	3.751点	増加 (H32)	